

# フォトライフ 四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1  
☎045-476-0777  
平成12年6月1日発行  
季刊第33号  
www.kitamura.co.jp

カメラの  
キタムラ®

vol.33  
SUMMER

特集 写真家・中村 征夫氏

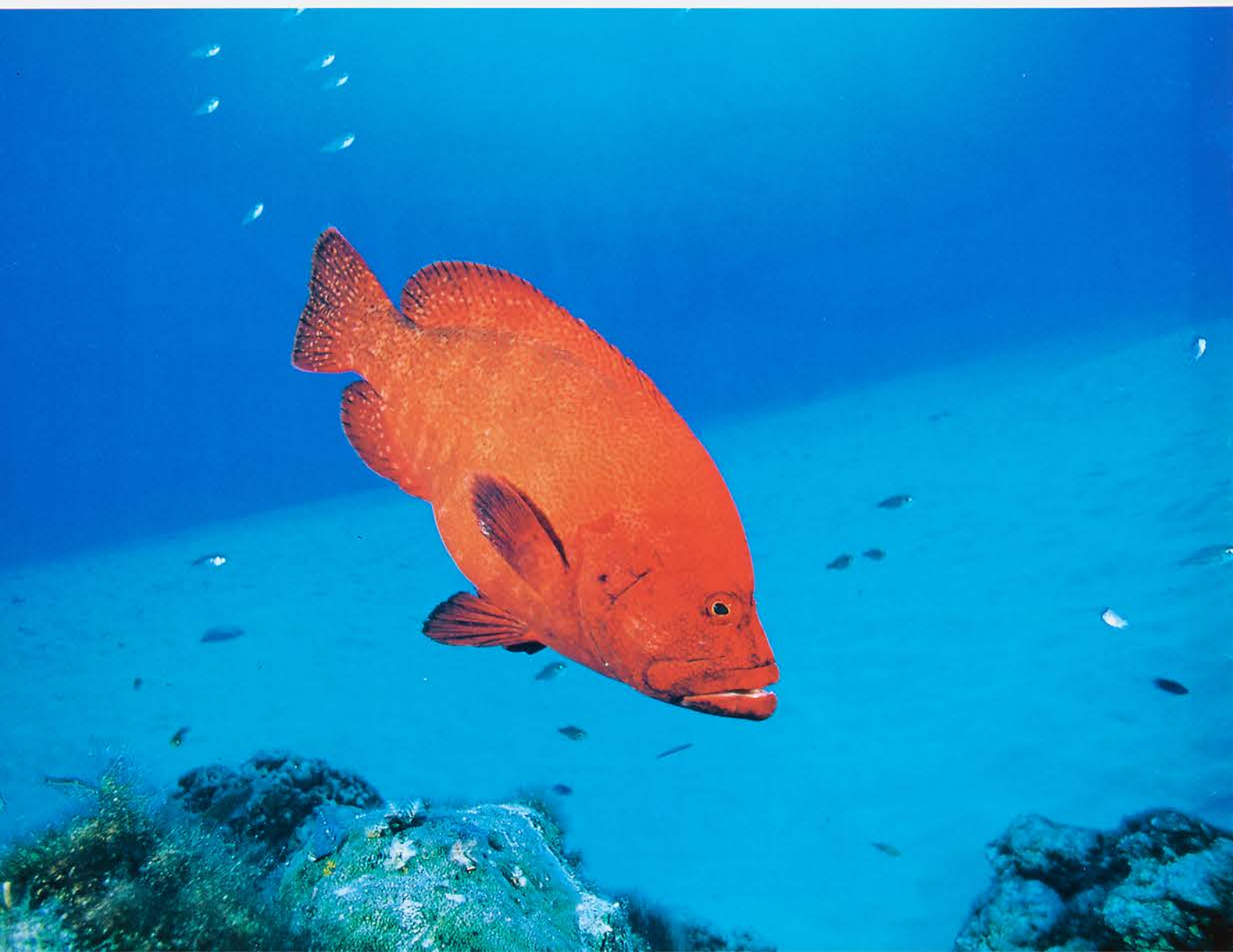
圧倒的な迫力で迫る海中の世界、  
その一瞬のドラマをカメラでとらえる。

路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング

第3回 松田 哲夫氏

保存版 夏を撮る!

水深20メートルの小さな岩礁に住むアザハタ。  
真紅の色彩は、真っ青な海の色によく映える。  
■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール28  
mm F2.8 絞り：f8.5 シャッタースピード：  
1/60秒 ストロボ使用 フィルム：ベルビア  
撮影地：沖縄（撮影）中村征夫氏



フォトライフ  
**四季**

CONTENTS  
Vol. 33  
SUMMER



止まり木のイソバナの上で一休みするクダゴンベ。実は擬態でこの枝の中に身を隠し、ここから離れることはない。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mmマクロ F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：1/60秒 ストロボ使用 フィルム：ベルビア 撮影地：沖縄（撮影）中村征夫氏

特集 写真家・中村 征夫氏

圧倒的な迫力で迫る海中の世界、  
その一瞬のドラマをカメラでとらえる。..... 2

路上観察紀行「奥の細道」ウォッチング 第3回

松田 哲夫氏 ..... 10

ぶらりわが街  
京都府亀岡市 中西誠幸さん ..... 16

子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト 誌上ミニ展覧会 ..... 18

保存版 夏を撮る! ..... 23

全国写真クラブ紹介 ..... 29

第5回「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」入賞作品発表 ..... 20  
キタムラインフォーメーション ..... 32  
プレゼントが当たる! クロスワードパズル ..... 32  
編集後記 ..... 32

次ページ (P2・3) の写真解説  
澄み切った青い海中にフワリと浮いて、ハマフエフキとにらめっこした。  
■カメラ：ニコンSR5 レンズ：UWニッコール13mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オート フィルム：ベルビア 撮影地：沖縄（撮影）中村征夫氏

MINOLTA

私は、スウィート。



Sweet

ママの瞳の一眼レフ。

ママへ。ここがおすすめ。

- ファインダーをのぞくだけでピントが合う〈アイスタート〉。子供の“一瞬”を逃しません。
- シャッターを押すだけで、プロ級の写真。あなたの子供がアイドルになります。

パパへ。ここがおすすめ。

- 〈2コマ/秒の高速連写〉や〈i+型の3点ワイドAF〉、〈露出ブラケット撮影〉、〈カスタム設定〉〈金属マウント〉などの高機能満載です。



やさしく、軽い。小さな一眼。



希望小売価格(税別)  
αスウィート AFズーム28-80mmF3.5-5.6 II ..... ¥92,000  
αスウィート AFズーム35-80mmF4-5.6 II シルバー付 ..... ¥84,000  
αスウィート ボディ(シルバー・ブラック) ..... ¥67,000  
AFズーム28-80mmF3.5-5.6 II (シルバー・ブラック) ..... ¥25,000(ケース¥2,000・別販売)  
AFズーム35-80mmF4-5.6 II シルバー ..... ¥17,000(ケース¥2,000・別販売)  
カメラケースCH-100 ..... ¥4,500

■カタログ進呈(住所・氏名・年齢・機種名記入) 〒108-8608 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル ミノルタ株式会社 フォトライフ四季係  
●お客様商品相談窓口 ☎(03) 5423-7555 ☎(06) 6271-2641 ●ホームページアドレス <http://www.minolta.co.jp/>



特集  
写真家  
中村 征夫氏



なかむら いくお/1945年秋田県昭和町生まれ。20歳のときに潜水と水中写真に取り組み、以後、専門誌のカメラマンを経てフリーランスとなる。現在、海を専門とする撮影プロダクション「スコール」代表。CMや劇映画、ハイビジョン映像でも、その撮影技術は高く評価されている。ライフワークの東京湾をはじめ、水俣湾など、社会性のあるテーマにも取り組んでいる。88年木村伊兵衛賞、94年文化庁芸術作品賞など受賞多数。写真集に「海中顔面博覧会」「白保SHIRAHŌ」(情報センター出版局)、「ありがとう 海の仲間たち」(東海大学出版局)、「びっかびかの海」(講談社)、「カムイの海」(朝日新聞社)、「海のなかへ」(小学館)、「ガラバコス 太古を伝える野生」(集英社)など多数。

# 圧倒的な迫力で迫る海中の世界、その一瞬のドラマをカメラでとらえる。

海に囲まれた島国の日本では、海そのものを一つの風景として、風景写真の被写体の一つに数えてきました。読者の皆さんも、誰もが一度は大海原に向かってレンズを向けたご経験があるのではないのでしょうか。しかし、その水面の下には、陸上からでは見ることができない、もっと素晴らしい景色が広がっています。カメラのキタムラが今回ご紹介する、日本の海中写真の第一人者である中村征夫先生も、そうした美しい海中写真を数多く発表されてきました。「海ではシャッターチャンスは一瞬で通り過ぎてしまう」とおっしゃる中村先生の、海中写真に対する情熱が読者の皆さんのもとに届けば幸いです。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて中村先生の作品です。

## 海中写真は私の天職ですね。

先生は1988年に木村伊兵衛賞を受賞されていますが、海中写真で木村伊兵衛賞を受賞されたのは先生がはじめてです。その後の日本の海中写真に大きな影響を与えた出来事だったと思います。先生「自身は、この賞を受賞されたとき、どのようなお気持ちだったのでしょうか？」

「海中顔面博覧会」で木村伊兵衛賞をいただいたのですが、私自身はこの写真集を作ったときに、まったく賞なんて考えていませんでした。当時は日本の海中写真のレベルがずいぶん低く、ダイビング雑誌を見ても見慣れた写真が多く、魅力のある写真が少なかったんです。私は少しでも海中写真のレベルが高まればと、常々思っていました。そのためには素晴らしい海の写真を、もっと多くの方に見てほしい。海に潜らない人たちにも、海の中の美しさ、楽しさを伝えたいんです。そうした気持ちを含めて出版したのが「海中顔面博覧会」で、この写真集は私自身も楽しんで作ることができました。皆さんにも楽しんでいただけたようで、病院のお見舞いにも使われたりしたようです(笑)。



「海中顔面博覧会」を出版してしばらく後、木村伊兵衛賞にノミネートさ

小鳥のたわむれのように気ままに泳ぐハナダイたち。  
■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール20mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒  
フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：エジプト・紅海



れた頃は、ちょうど日本の海中写真のレベルが上がってきた時でもありました。海中写真のコンテストも盛んに行われるようになり、優れた作品が出てきていたのです。そうした海中写真の盛り上がり、私がこの賞をいただくことで、さらなるステップアップにつながる事ができればと思います、賞をいただくことにしました。

その後も先生は日本の海中写真の向上に尽力されてきたわけですが、先生が魅了された海との出会い、海中写真との出会いについて教えてください。

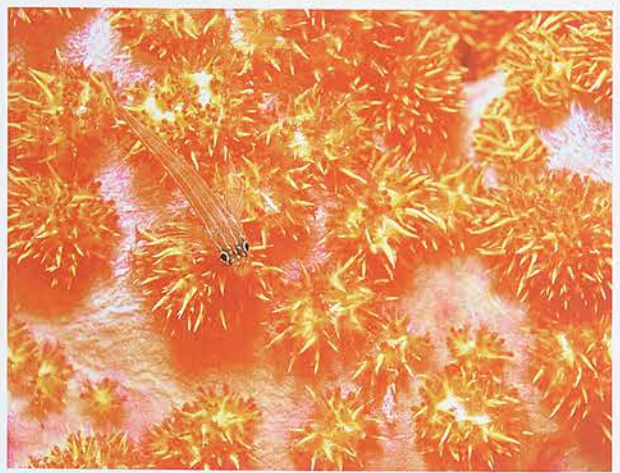
最初はまったくの遊びでした。私は出身が秋田県で、子どもの頃は水の中に潜るといえば八郎潟(はちろうがた)しか知りませんでした。八郎潟と比べてみると、海は水の青さ、透明感からして違いました。オパケのように見える海藻が生えていたり、岸辺の近くに魚の群が訪れたり、海中の美しさ、面白さに感動してしまいました。それで、しょっちゅう神奈川の真鶴岬に電車で乗って遊びに行っ

ました。ある日、のんびりと沖の岩の上で日向ぼっこをしていると、急に目の前に2、3人のダイバーが浮上してきたんです。見ると首からカメラをさげている。「何を撮っている」と言います。海中の美しい世界を写真に撮れるということを知って私は興奮しました。その時私は「自分はこれがかかったんだ」と思いましたよ。自分の天職だと思いましたね。

東京湾の汚い海の中にも生命のドラマがある。そのことに感動しました。

先生は、東京湾の撮影を自身のライフワークにもなされていますが、美しい海に魅了された先生が、なぜ東京湾を撮ろうとお考えになったのですか？

東京湾のそばに住んでいた友人が、家の前の海に潜れば魚介類が採り放題だと言っています。しかも食べられると言う。江戸前です(笑)。それ



(右) トゲトサカの赤に同化し、赤い魚に化身してしまったタテジマヘビギンポ。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f11 シャッタースピード：1/60秒  
フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：沖縄



(上) 3メートルほどもある巨大マンタが、悠々と目前に迫ってくる。プランクトンを捕食している様子だ。  
■カメラ：ニコンスV レンズ：UWニッコール15mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：オート  
フィルム：プロビア 撮影地：オーストラリア



■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール50mm F3.5  
絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：RFP  
ストロボ使用 撮影地：沖縄

しなやかに岩陰から出入りしては、愛嬌を振りまくように現れるニシキヤッコ。  
■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール50mm マクロ F3.5 絞り：f8.5 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：RD100  
ストロボ使用 撮影地：モルディブ諸島



細長い体型に長い顔。これも餌を捕食するのに適しているのだから。  
■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール50mm F3.5  
絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：RFP  
ストロボ使用 撮影地：沖縄

を交換し、また潜ったときには、もういない。こうした絶好のシャッターチャンスにフィルムがないというのは本当に悔しいんです。それでいつもフィルムを少しだけ残して戻ることになっています。  
また、一瞬のシャッターチャンスを逃さず撮らなければなりませんから、あまり考えて撮ることができません。だから私はあまり露出を変えて撮るといってはいけません。1m以内なら8ですし、10cmでしたら16と  
いうように、決めていくんです。  
また、1台のカメラでは写真に入りきらない、またはワイドすぎる、そうした場合のことも考えて、15mmの超ワイドと28mm、それに60mmか105mmのマクロと3台は持って潜ります。海中では屈折率が変わりますから、28mmのレンズが地上の37mmのレンズに相当するんです。これらのレンズで、いかに被写体に寄れるか、

海中写真ではそれが決め手になります。  
**魚に近寄るコツは釣りに似ています。**  
先生の作品には魚たちの顔のアップを写したものが多くありますが、魚たちはそんなに簡単に人間を近くに寄せてくれるのですか？  
回遊魚のように海を泳ぎ回っている魚は別として、大半の魚は小さな縄張りの中で生きていますから警戒心が強く、そう簡単には近寄ることができません。近寄る場合は魚をだまして近づきます。  
「魚をだます」と言うと、具体的にどのようになれるのですか？  
たとえば小さな穴から顔を出している臆病そうな魚をアップで撮る場合、まず、相手の魚を無視して、近くの石に興味があるかのような素振りやゆっくりと近づきます。いやあ、いい石だねえというように(笑)。こちらは石しか見ていませんので、魚は少しづつ、気を許してくれるんです。  
難しいのは魚にレンズを向けるタイミングです。レンズを向けて魚が逃げるような素振りを見せたら、それ以上近寄ってははいけません。我慢して、魚がもう一度穴に入るまで待ちます。穴に入ったらいかに距離をつめてしまします。魚の方は、もしやのために逃げ場を確認するた

海の中では人間の方が異邦人なんです。  
先生はサメがお好きというこ



エダサンゴの上を行進するように泳ぐデバスズメダイ。  
■カメラ：ニコンSR5 レンズ：UWニッコール13mm F2.8 絞り：f5.6 シャッタースピード：オート フィルム：ベルビア 撮影地：沖縄

とですが、サメやはり接近して撮るので  
ですか？  
ええ、そうです。しかしサメはなかなかいい写真が撮れないんですよ。彼らは



空き缶から顔をのぞかせ、こちらに迷惑そうに何やらつぶやく?...  
ハゼの仲間のチチブ。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f8.5  
シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用  
撮影地：東京湾



ローブの一部に卵を産みつけるコウイカ。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f8.5  
シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア  
撮影地：東京湾

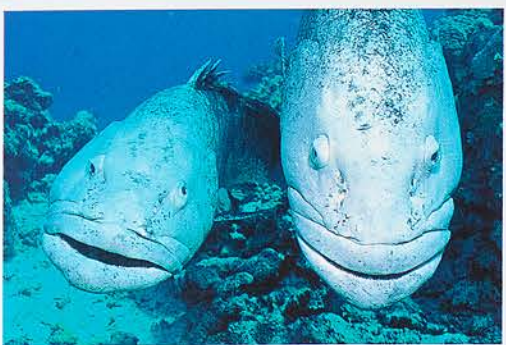


誕生間近のコウイカの赤ちゃん。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f11  
シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用  
撮影地：東京湾

オホーツクの海の王者、オオカミウオ。  
■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f11  
シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：北海道知床半島



がきっかけで東京湾に潜ってみました。噂どりに汚い海でした。木材とかボリ容器なんか水辺に打ち上げられていて、それをかき分けながら海に潜ったんです。普通の海でしたら、水深1メートル程度であれば外光が十分に入るので、写真を撮ると水が青く写ります。ところが東京湾では黄緑色に写るんです。それだけ汚れているんですね。最初はひどいところに潜ったと思いましたが、  
ところがやがて、私は東京湾がとても面白い海であることに気がついたんです。私はそれまでは海中でも見晴らしのいい広い景色を撮るのが好きだったので、東京湾は汚いので先が見えませんが、これでは写真が撮れないと思っていると、5cm、10cmといった目の前に何かがある。こんな汚い海なのに生き物がいるんです。ムラサキイガイやギンポ、ハゼとか、いっぱいいるんですよ。とても生き物が棲めるとは思えないこの海に、たくさんの生命がいる。生命がいるということは、そこに誕生、生活、交尾、死といった命のドラマがあるということです。私はそのことに感動して、この汚い海に棲んでいる生き物たちを撮ろうと思いました。これが「海中顔面博覧会」を出版するきっかけにもなったんです。  
東京湾は私に、遠くばかりを見ていないで、足下もよく見ないと、大切な被写体を逃してしまうことを教えてくれました。



ウーパールーパーのような個性的な顔のカスリハタ。2メートルほどあるので、横から見るとすごい巨体だ。  
■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール28mm F2.8 絞り：f8.5 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：オーストラリア

た。私は今ではどんな汚れた海でも、5cm先が見えれば海中写真を撮ることができそうですが、そういう技術を教えてくださいませんか？  
海中写真の場合、地上とは違った撮影上の技術や知識が必要になると思うのですが、先生はどのようなことを注意されているのですか？  
私は常に2、3枚フィルムを残して戻ることになっています。海中ではフィルムの交換ができません。ところがフィルムを撮り終わって船や岸に戻ろうとしているときに限って、イルカが近づいてきたり、クジラが目の前を通り過ぎたりと、素晴らしいシャッターチャンスが訪れるものなんです。急いで上がってフィルム

# 海中ではシャッターチャンスは一瞬で過ぎてしまいます。

警戒心が強いので、寄ってこないのです。オーストラリアへ行ったときに、エサを吊してサメの群を引き寄せて撮影しようとした。ところがそうした状況でのサメたちは、エサを奪い合うパニックの状態ですから、自然状態の悠々と海を泳いでいる姿とは、ほど遠いものでした。結局、写真になりませんでしたね。

その時のことですが、サメがエサを食べ終わった後も、私は近くで写真を撮っていたのです。すると、そのうち大きなサメが私に近寄ってくる。気がつく私の周囲に何匹ものサメが泳いでいるんです。私をエサだと思ってるらしいんですね。怖かったですよ。こうした場合に背中を見せて逃げると、後ろから咬まれるおそれがありますし、あわててバタバタ泳ぐと傷ついた魚だと思われてしまいます。サメは弱った魚をエサだと思って襲ってきますから、落ち着いて元気な魚のようにリズムカルに泳がないといけません。私は慎重に岸まで泳いで逃げました。

海の中では、いま、お話にうかがったような危険なことも多いと思うのですが、それでも先生は海に潜られ、写真を撮り続けていらつしやいます。先生を



人喰いサメの一種と言われるメジロサメが、岩陰からいきなり出現し、度肝を抜かれた。後ずさりしながらシャッターを切った思い出に残る一枚。

■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール28mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：小笠原

そこまでかりたてる海の魅力とは、どのようなことなのでしょう？

地上では見ることができない海中の雄大な景観の美しさ、それと海の野生の生物が目の前に近寄ってくることで、地上と海中では動物と人間の立場が逆転してしまいます。海の中は魚たちの世界ですから、私達人間の方が面白がって私を見に来るのです。それが楽しいですね。

陸上で撮った写真には、海に共通する構図がたくさんあります。

アマチュアで海中写真を撮っている方に、作品づくりでアドバイスをいただけますか？

真を見てほしい。陸上で撮った写真には、海に共通する構図がたくさんあるのです。私もよく書店に行って陸上の写真集を見ている。みなさんも、そうした勉強を怠らないようにしてほしいですね。

また、小型カメラでいいですから、毎日持ち歩いてほしい。スナップをたくさん撮って、普段から様々な被写体に対峙する気持ち鍛えてほしいのです。

被写体はどこにでもある、そのことに気づいてほしい。日頃から面白いと思つたものにカメラを向ける気持ちを養っていきましょう。海は陸上よりもずっと雄大で圧倒的に迫ってきますから、一瞬を切り取ることができずに、ぼろぼろと見逃してしまうのです。ですから私は地



交換中のコウイカに、やきもち焼きの雄が体当たりをくらわせ、二匹を引き離してしまつた。

おもちゃのように可愛らしいカクレクマノミ。 ■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f8.5 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：沖縄

海中写真にもブームがあるように思います。マクロというと、みんなマクロを使うようになりまして、カメラがいいとなると、誰もがカメラを撮ろうとする。それが悪いとは言いませんが、それから一歩踏み出して、もっとオリジナリティのある作品を撮るようにならなければいけません。ウミウシやアメフラシだけが被写体ではありません。外光の入り具合によって様々な色彩を映す岩場を撮っても、立派な作品はできるのです。もっと広い目で海を見てほしい。

それと、いい作品をもっとたくさん見てほしいですね。それも陸上を撮った写



いつも仲良くカップルで暮らすハタタテハゼ。危険が迫ると、素早く小さな岩穴へと身を隠す。

■カメラ：ニコンF4 レンズ：ニッコール60mm マクロ F2.8 絞り：f8.5 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：沖縄

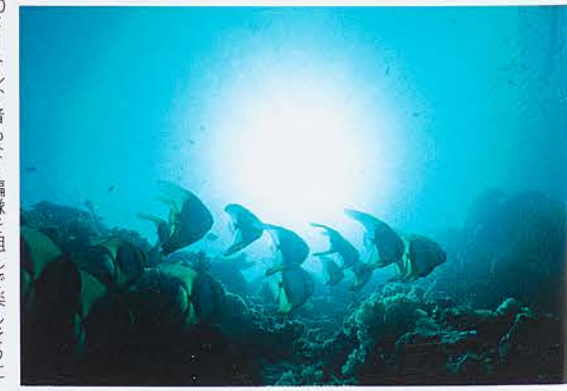


# 陸上では見ることができない、海中の雄大な景観の美しさ。

あつという間に現れ、サアッと通過していくウメイロトドギ。黄色ラインは海中でもよく目立つ。 ■カメラ：ニコンF3 レンズ：ニッコール28mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：沖縄



上でも、いつでも撮れるように、家や車の助手席に小型カメラを置いていきます。



(一) 水深20メートル、音もなく編隊を組んで楽しそうに泳ぐツバメウオたち。

■カメラ：ニコンF3V レンズ：UWニッコール15mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア ストロボ使用 撮影地：インドネシア (二) さらに海中の静けさを強調するため、もう一枚、自然光で撮る。このあと、魚群は追いつけないほどの速さで視界から消えていった。

■カメラ：ニコンF3V レンズ：UWニッコール15mm F2.8 絞り：f8 シャッタースピード：1/60秒 フィルム：ベルビア 撮影地：インドネシア

東京湾の写真集をまとめたたいんです。世界一汚い写真集にした(笑)。その汚い海の底で繰り広げられている生命たちのドラマをみなさんに伝えたい。たとえば私が以前から撮りたいと思ってるものに、ヒトデの産卵があります。東京湾には年に一度、何万というヒトデが産卵のために押し寄せてくるのですが、その産卵は、ほんの一瞬で終わってしまうので、いまだにその瞬間を撮ることができません。ですから、出版にはもう少し時間がかかるとお思います。

福島県の五色沼も撮りたいですね。とても潜りづらい場所なんです。瑠璃沼などは硫黄が積もっていますから、潜るとむせてしまいます。それでも水中の景色は、この世のものとは思えないほど美しいんですよ。ぜひみなさんにその美しさを伝えたい。

沖縄の珊瑚の写真集も出しますよ。これは今夏に出版されます。沖縄の海の下で、珊瑚が繰り広げるドラマをまとめて

本日はお忙しいところを、ありがとうございました。

# 路上観察紀行 奥の細道 ウォッチング

〈第3回〉

## 松田 哲夫氏

路上観察学会は創設以来、今年で14年目を迎えました。赤瀬川原平氏、南伸坊氏、林丈二氏、藤森照信氏と、学会の主要なメンバーである皆さんは、いずれも劣らぬ強い個性をお持ちです。相反する個性的な皆さんが、長く一つの活動を続けていられるのはなぜでしょう。今回は路上観察の持つ、もう一つの魅力、人を結びつける秘密を、路上観察学会創設に大きな役割を果たした松田哲夫氏に、「奥の細道」のお話とともにうかがいました。



まつだてつお  
1947年東京生まれ。若い頃から赤瀬川原平氏や南伸坊氏と親交を持ち、路上観察学会の中心メンバーとして活躍。ベストセラーを数多く手がける多彩な芸人編集者。最近手がけた「老人力」(赤瀬川原平著、筑摩書房)は、発行部数41万部という筑摩書房創業以来の大ベストセラーとなった。現在は筑摩書房常務取締役。



◀古代遺跡を掘ったときに使った手袋を、棒の先にさして並べて干してある。地面からニュッと古代人の手が伸びてきているようにも見える。(多賀城址)



路上観察学会創設以来、その事務局長を務められている松田哲夫氏は、「ちくま文庫」や「ちくま文学の森」などを創刊されて筑摩書房を再興、現在は同書房の常務取締役でいらっしやいます。赤瀬川原平氏や南伸坊氏とは路上観察学会発足以前から親交がありました。学会の創設に深くかかわってこられた松田氏と、学会の顔とも言える赤瀬川氏の出会いとは、どのようなものだったのでしょうか。まず、そのことからうかがいました。

赤瀬川さんとは私がまだ10代の頃、都立大学の学生だったときに知り合いました。その当時、赤瀬川さんは「千円札事件」という、芸術と犯罪の境目に関わる裁判で争っていたんです。それが面白そうだったので、大学の学生新聞を編集していた私は、赤瀬川さんにその事件について、学生新聞に掲載する原稿の執筆をお願いしたんです。そのときにお会いしたのが初めて、その後、時々会っているうちに、私と赤瀬川さんは趣味や性格が似ていることがわかってきました。気が合うということ、それから「櫻画報」を一緒にやったり、赤瀬川さんが美学校で講師を務めていたときには、私は「助教」をやっていました。実際は助手をだ

◀港町では船の塗装でペンキを使う機会が多い。その影響からか、壁面にもペンキで美しい模様を描かれています。(塩竈)



▲いたずらした子狐を叱っている親狐。でも、親狐の方が悪さをしそうな顔をしている。(岩沼)

ったんですけど(笑)。その赤瀬川さんの講義を受講してきた生徒の中に、南伸坊さんがいたんです。  
※1965年、赤瀬川氏が芸術作品として制作した千円札が「通貨模造」の罪に問われた事件です。  
※2070年代に赤瀬川氏が雑誌を、乗っ取るかたちで連載した作品。独自の批評を盛り込み、イラストレーターとしても活躍されています。  
その後、赤瀬川氏と松田氏、南氏の三人は共同で、イラストに執筆にと幅広い創作活動をはじめようになりました。そして三人は偶然に、路上観察のきっかけとなる不思議な階段を見つけます。  
三人で四谷の旅館に合宿しながら仕事をしていたときのことで、その旅館の側壁に、ただ登って降りるだけの妙な階段がついていたんです。登ったからどこかへ出るということではなく、ただ階段が壁にくっついていていただけなんです。「これは何だろう?」と三人とも不思議に思いました。実はこれがトマソンの第一号物件で、私達は「四谷階段」と呼んでいます(笑)。この階段との出会いが、後の路上観察へとつながってゆく最初の一步になったのですが、赤瀬川さんは以前から冗談まじりで、町にあるものの方が芸術より面白いんじゃないかと感じていました。意図して作られたものでは



▲飲み屋さんの窓がおちょこの形をしている。これほど大きなおちょこでは、とても飲みきれそうにない。(松島)

ない、成り行きで出来上がったもの、見方を変えてみると前衛芸術を超えるようにも見える(笑)。そこで町中の、無用の長物と化している不思議な建造物を「超芸術」と呼ぶようになったのです。  
※昔、野球の読売巨人軍にトマソンという、ほとんど活躍しなかった現役大リーガーの外人選手がいました。トマソンとはここからとった名前、町中の無用の長物のことを意味し、後に赤瀬川氏が「超芸術トマソン」として発表され、知られるようになりました。  
その後、赤瀬川氏たちは「超芸術トマソン」の観察を深めつつ、路上を歩きまわります。一方、松田氏は、日本の近代建築をテーマに独自に路上観察をしていた藤森照信氏と出会います。そこにマンホールなどを中心に路上を観察していた林丈二氏に加わります(藤森照信氏はフォトライフ四季のVol.32に、林丈二氏はVol.31にご登場をいただいておりますので、詳しくはカメラのキタムラのホームページのバックナンバーをご覧ください)。  
こうして路上観察をしている面々が集まったんだから、みんなで何かしようじゃないかということになりました。そこ



◀大きな巾着袋の飾りがあるお店。大金を持ったお客さんに来てほしいのか、それだけ大きな巾着袋を持つほど儲けたいのか。温泉らしい風情のお店だ。(飯坂温泉)



路上観察では、昔は栄えていたのに今はさびれてしまった場所、旧道や神社、銭湯などがある地

域を探して歩くといひんです。そうした場所には、今から見ると不思議に思える古いものが残っていることが多い。たとえば郡山で見つけたタバコ屋さんのショーケースの上には、描かれたガラス絵には、パイプをくわえたマドロスが描かれていました。昭和20年代から30年代にかけて、日本でマ



▲「ちよとと太つてずんぐりとした、どこことなく、かわいらしい鳥居。山形県には、こうした鳥居が多く見られる。」(東根)

▲「おそらく成り行きでこうなったのだろうが、配色の美しい光景だ。こうした被写体はファインダーの切り取り方で味わいが変わってくる。」(平泉)



一人一人の個性を十分に活かしつつ、みんなが集まると、さらに新しい発見につながってゆく。それが路上観察の醍醐味のようなのです。その楽しい仲間が再び集まり、今度は東北を歩くことになりました。松田さんの目には東北の町と、その路上がどのように映ったのでしょうか。路上観察をするときのコツとともに、奥の細道で松田氏が見つけた不思議なもの、面白いものについてうかがいました。

今回は芭蕉の歩いた道を路上観察をしながら歩いているわけですが、芭蕉は奥の細道を歩きながら、そのときそのときに自分が感じたことを俳句にして残しました。芭蕉は俳諧をしていたわけですが、私達は自分が感じたものや気になった景観などを、写真で切り取っているわけ、これは写真を使った俳諧のようなものだと思います。写真で俳諧をしながら俳諧しているわけですね。



▲タバコ屋のショーケースにあったガラス絵。マドロスがパイプを加えている絵なのだが、そのマドロスが、どう見ても少年に見える。少年はパイプを吸ってはいけないはずなのだが…。(郡山)



▲左官職人の伝統が脈々とある土地柄のせいかな? 空き缶のポイ捨て禁止を呼びかけるために、空き缶で恐竜を作ってしまった。(大石田)



▲「一見、ただの剥けた塀だが、よく見ると剥け方に味があり、美的なコンストラクションになっている。」(村山)

路上観察の魅力は発見をすることの面白さではないでしょうか。学会のみんなと同じところを路上観察をしながら歩いても、一人一人の目のつけ所が違います。みんな色々なものを観察しているんです。それを集めて、お互いに撮った写真を見比べてみると、同じ町を歩いたはずなのに、自分では気がつかない町の姿に気づかされる。それがす

ごく面白いんです。また、路上観察をした後に発表会をやるのですが、一人二人が撮った写真をスライドで見ながら、他のメンバーも感想や意見を言うわけです。すると、撮ったときには何が面白いのかわからなかった、不思議に思えただけの景観が、他のメンバーに教えられて、その理由がわかったり、また別な見方を教えられたり、そうした発見もあるのです。それもまた楽しい。

路上観察学会は発足より今年で14年目を迎えますが、松田氏は学会がこんなに長く続くとは思っていません。ただ目的もなく集まって冗談を言い合っているだけ

では、14年も続かないはず。やはりそこには、路上観察ならではの楽しさや魅力が深くかかわっていました。

また、路上観察をした後に発表会をやるのですが、一人二人が撮った写真をスライドで見ながら、他のメンバーも感想や意見を言うわけです。すると、撮ったときには何が面白いのかわからなかった、不思議に思えただけの景観が、他のメンバーに教えられて、その理由がわかったり、また別な見方を教えられたり、そうした発見もあるのです。それもまた楽しい。

路上観察は一人一人の個性を活かしつつ、みんなが集まると新しい発見につながってゆく。

路上観察学会は発足より今年で14年目を迎えますが、松田氏は学会がこんなに長く続くとは思っていません。ただ目的もなく集まって冗談を言い合っているだけ

では、14年も続かないはず。やはりそこには、路上観察ならではの楽しさや魅力が深くかかわっていました。

▼大石田にいた左官職人佐藤金太郎さんは、異様なコンクリート彫刻を作る人だった。これは小便小僧が邪鬼におしっこをひっかけている国籍不明の作品。(大石田)



で共同して「路上観察学入門」という本を出版することにしたんですが、発行者をどうしようかという話になり、だったら冗談も含めて、もっともらしく「路上観察学会」にしようということになりました。学会なんだから発会式をやるよ、学生士会館でやるよ、いや「路上観察学会」なんだから路上でやるよと、話はどんどん発展していったんです(笑)。それで学生士会館の前の路上で、モーニングで正装したメンバーが、ブラツと並んで発会式を

やりました(笑)。このように路上観察学会の活動というのは、先に目的があつて何かをするというわけではなく、みんなが集まって冗談を言い合っているうちに、いつのまにか学会の活動につながってゆくんです。みんな集まって路上を観察をして歩く。面白いものを見つけては写真を撮り、冗談を言い合う。奇妙なものを見つけては、また写真を撮って笑い合う。みんな難しい顔をして路上を観察しているわけでは

な活力を与えていると思いませんか。いい刺激になっているのですね。

▲擬木の冷蔵庫。冷蔵庫をコンクリートで固めて木目模様をほどこし、木に見せかけている。なにも冷蔵庫を擬木にしなくてもいいのでは、と思うのだが。(大石田)





Nikon



# 写真力。

いい写真への憧れを、このカメラならかなえてくれる。

■インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo-1/> ■e-nifty (アット・ニフティ) で「ニコニ・ステーション」を開設しています。「GO-SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。  
■カタログをご用意しています。機種名・誌名をご明記の上、100-8693東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室 宛ご請求ください。

■製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話 (03) 3775-2266 FAX (03) 3775-7201

## クリエイティブマインド



新開発の「5点測距オートフォーカス」、視認性に優れた世界初「パリアイト・フォーカスエリア」、構図決定に便利な格子線が表示できる世界初「マルチディスプレイ・スクリーン」を採用。そして「3D-マルチBL調光」も可能なスピードライトを内蔵した、AF一眼レフカメラ。F80SはF80Dの機能に、「コマ間データ写し込み機構」をプラス。

## Nikon F80D

希望小売価格[税別]:  
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付).....¥88,000  
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付¥113,000

## Nikon F80S

希望小売価格[税別]:  
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付).....¥102,000  
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付¥127,000

## ファインダーの中の不思議な世界

## 路上観察紀行 奥の細道 ウォッチング 松田哲夫氏



▲「犬」と書かれた紙が戸に挟まれて顔を出している。本物の犬が顔を出しているところが想像できて面白い。(平泉)

ようが、私達が見ると、ちょっと太って見えるので面白い。  
岩手県の平泉では、ある町内に手書きで「犬」と書かれた貼紙が戸に挟まれていました。東京では「猛犬注意」の貼紙を見かけますが、この町ではどこの家でも単に「犬」と書いてある紙を貼ってあるだけなんです。それを玄関の戸に挟んで「犬」という字が表に出ている。それが本物の犬が玄関からチョココンと顔を出したところを想像させてくれて楽しいんです。石巻では使い捨てられた秤がズラリと

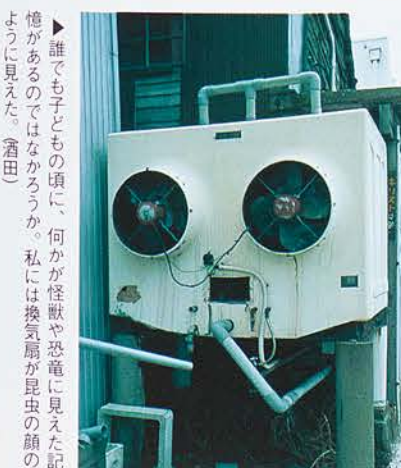
皆さんが路上観察を行われるときも、何人か仲間を作って歩かれるといいと思います。もちろん一人で楽しんでる方もいると思いますが、たとえば藤森さんのように近代建築を研究するため、といった目的を持っているのでしたら続くでしょう。しかし、ただ漠然と観察していったのでは、普通は続かないのではないのでしょうか。仲間と一緒に、たとえば今回はこんなテーマで路上観察してみようとか、相談をしながらやる方が楽しいと思います。やるのなら楽しく、面白い方がいいですからね。

見立て、想像をする知的な遊び。それが路上観察です。松田氏は路上観察が連歌に似ているといいます。何人かが集まり、それぞれが歌の一部を作って歌い継ぎ、一つの大きな歌を作っていく連歌と、各々が切り取った町の一角の写真を集めて、様々な表情を持つ町の姿を再認識する路上観察。確かに、この二つには共通するものがあるようです。

仲良く並んでいました。この港は昔から栄えていたんですが、港では荷の積み降ろしの時に秤が使われるわけで、その古くなった秤を一角に並べて放置してあるんですね。そうした景色というのは、港で生活されている方々には当たり前前のものなのでしたが、私達には不思議な景色に見えるんです。象の墓場ならぬ秤の路上観察は連歌遊びに似ている。仲間と一緒にやった方が楽しい。

墓場で、なんだか死期を感じ取った秤たちが、自分たちからここへ集まってきたような、そんな想像をしたくなる景色なんです。

読者の皆さんも、写真仲間と、あるいは所属されている写真クラブの皆さんと、時には作品づくりから離れて気軽に路上観察をされてはいかがでしょう。写真の浅いビギナーの方も参加しやすく、また写真にそれほど興味のない方でも参加できる、楽しい企画になることと思います。また、路上の不思議なもの以外にも、あの人がこんな事に詳しくあった、こんな特技を持っていたという、新たな発見があるかもしれません。それがみなさんの交友関係を、さらに広げてくれることでしょう。



KYOCERA

# CONTAX T vs III



(シルバー、ブラック)

メーカー希望小売価格 160,000円(税別)  
ケース、ストラップ付

- カール ツェイス パリオ・ゾナーT\*30~60mm F3.7~6.7 搭載
- スタイリッシュなデザインと自動開閉式フロントカバー
- 高精度マルチパッシブ方式オートフォーカス機構
- 最高速1/1000秒を実現するダブルピントウイン式レンズシャッター
- 作画重視の絞り優先オートと即写重視のプログラムオート露出機構
- 軽量・高強度・極めて優れた耐腐食性をもつチタンを外観素材に採用
- 明るく見やすいズーム連動式ファインダー機構と視度調整内蔵

お問い合わせ先  
京セラ光学機器事業本部 ☎158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9  
☎03 (3708) 3114 (代表)  
京セラホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>  
コンタックスホームページ [CONTAX STUDIO]  
<http://www.kyocera.co.jp/frame/product/optical/studio/default.asp>

▶「とまれ屋」という旅館。ちよっと命令されているような気がする。新庄

▶お伊勢様が大麻をくれる? 神社のお札のことを「大麻」ともいう。マリファナと間違えられては困るためだろう。「おふだ」という添え書きがあった。(重根)

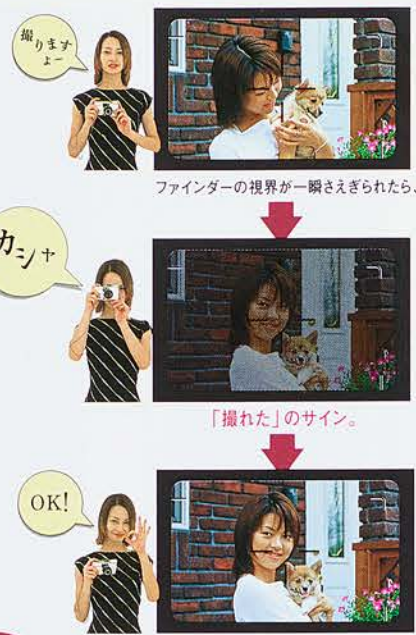
▶郵便ポストにうまく化けられたタヌキと化けられなかったタヌキ。うまく化けられたのはお母さんのタヌキで、体の大きな息子は、うまく化けられず人間に見抜かれてしまう。そんな楽しい想像をさせてくれる。(重根)

**OLYMPUS**  
人から発想します。オリンパス



ミューで撮ろうと決めました。

「撮れた」を確かめられる、安心のVF機能。

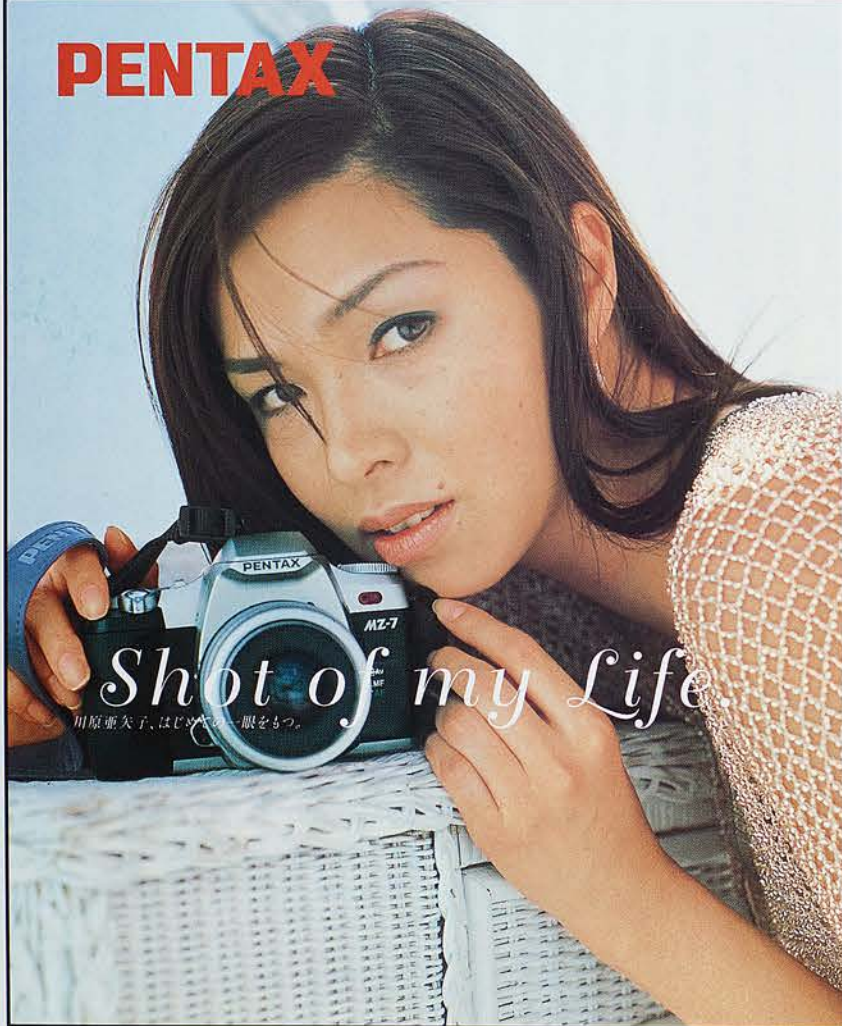


新登場



μ[mju:]ZOOM 140VF  
希望小売価格(税別) ¥69,000 (リモコン/本革ケース・ストラップ付)

**PENTAX**



世界初!『光っておまかせプログラム』搭載。  
超小型軽量・リモコン付AF一眼、デビュー。

光っておまかせ。



**MZ-7**

希望小売価格(税別) ●MZ-7ボディ ¥67,000円  
●MZ-7 FAズーム28mmF3.5~80mmF5.6付 ¥93,000円  
●MZ-7 FAズーム35mmF4~80mmF5.6付 ¥89,000円  
※この広告で使用しているストラップは別売品です。

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)  
◎この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧いただけます。http://www.pentax.co.jp/  
◎カタログご希望の方はハガキで、必ず機種名を明記のうえ、〒100-8692東京中央郵便局私書箱895号ペンタックス販売(株)宣伝部へ。  
◎製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479



「花火大会」  
カメラ:キヤノンEOS 10 QD レンズ:75~300mm 絞り:f4 f8 多重露光 シャッタースピード:オート フィルム:RDP II



「彼岸花」 カメラ:キヤノンEOS 10 QD レンズ:35~80mm 絞り:f5.6 シャッタースピード:オート フィルム:RDP II

ぶらり  
わが街

【京都市府亀岡市】

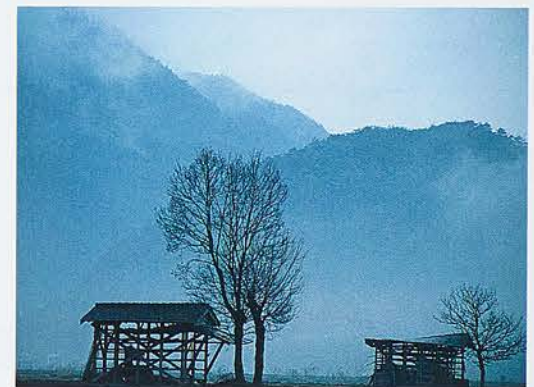
京都市府亀岡市  
中西誠幸さん



「保津川下り」 カメラ:キヤノンEOS 10 QD レンズ:28~70mm 絞り:f8 シャッタースピード:オート フィルム:RVP

このコーナーは写真を趣味としている方々に、地元の名所や撮影ポイントを紹介していただいています。今回は京都市府亀岡市の中西誠幸様にご登場いただきました。物静かな方ですが、内に闘志を秘めた撮影技術は年々、腕を上げておられます(カメラのキタムラ京都/亀岡店/片山)。

亀岡市に住んで、二十五~六年になりますが、四方を山に囲まれ、自然が豊かで、四季を肌で感じさせてくれる風土があつて、とても気に入っています。関西で「亀岡」といえば「保津川下り」で知られています。逆に知られていないのが「亀岡の霧」でしょう。晩夏から冬にかけて、早朝、田園地帯、山間部に静かに漂う霧は何ともいえない風情があります。もち



「亀岡霧風景」  
カメラ:キヤノンEOS 10 QD レンズ:75~300mm 絞り:f8 シャッタースピード:オート フィルム:RDP

ろん、晴れた日の遠からず、近からずの山の景色も、写真の背景として素晴らしいものを持っています。

京都に近いこともあつて、社寺、城跡などの歴史的な遺構も多くあるほか、春には明智光秀の城下町ゆかりの時代行列・光秀祭、夏の花火大会、そして秋にはミニ祇園祭といわれる亀岡祭が催されます。

こうした趣のある亀岡は、風景をテーマにしておられる方には、うってつけの場所といえます。私も地の利を活かして風景写真を撮楽しんでます。絵画が好きですが、休みの日は早朝から風の糸が切れたように探索しながら、この風景を素朴な日本画調に撮ってみたいと頑張っています。機会がございましたら、亀岡にお立ち寄りください。

「亀岡に多い彼岸花と狭木」  
カメラ:キヤノンEOS 10 QD レンズ:35~80mm 絞り:f5.6 シャッタースピード:オート フィルム:RDP



中西誠幸さん  
「写真は高校卒業時に兄からカメラを買って撮影していたが、本格的に始めたのは7年前。年齢的にも落ちついた趣味として、再開しました」とのことです。当初、キタムラのフォトコンに応募しただけで、回を追うごとに予選通過などを経て、昨年の春のフォトコンには準特選を獲得しておられます。「亀岡の狭い町をウロウロと撮影しています」と語っておられます。



第9回 子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト 作品募集!

賞金・賞品総額

150万円

元気なお子様たちの  
まぶしい笑顔を、  
ふるって  
ご応募ください!

グランプリ	賞金10万円と楯	1名
最優秀賞	賞金5万円と楯	5名
優秀賞	賞金3万円と楯	10名
佳作	賞金1万円と楯	30名
入選	記念品(2万円相当)と楯	300名

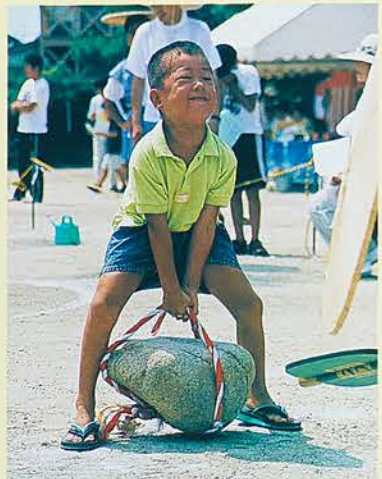
募集期間

平成12年7月15日(土)~8月31日(木)  
カメラのキタムラ店頭または事務局必着

※詳細は、7月中旬よりカメラのキタムラ店頭に設置されますポスター、または応募チラシをご覧ください。



最優秀賞受賞  
「わんぱくキッズ」森田和雄様(埼玉県)  
子どもたちはしゃくしゃく声が聞こえます。  
動物や昆虫をおいかけると、楽しいですね。  
動物の友だちも、いっぱい作ってほしいな。



佳作受賞  
「ウーン重いなあー」円堂信義様(岡山県)  
目いっぱい重そう(笑)  
子供は体中で表現するので、すぐわかりやすい。  
男の子こそ、カンパレ!

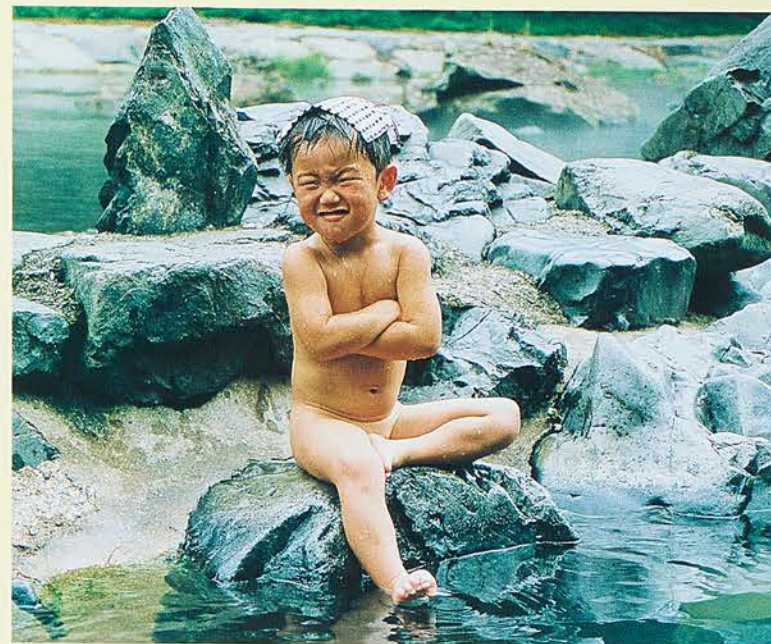


佳作受賞  
「汗でシットリ」舟山典弘様(山形県)  
大人は暑いとすぐに休むのに、  
子供は汗を流しながらも、  
元気いっぱい遊んでます。  
なぜでしょう、不思議です。



佳作受賞  
「ぐーすり」鳥内孝夫様(富山県)  
大人にとっても子供にとっても、夏のお昼寝は最高です。  
心地よいそよ風が吹いていて、  
蝉の声がして……私まで眠くなってきました(笑)。

最優秀賞受賞  
「テレビ観賞中」  
田中治広様(熊本県)  
好きな番組がはじまると、何もかも放り  
出してテレビの画面に集中して見ちゃう。  
子どもの頃に誰でもそんな経験をして  
いるはず。チョコンと正座している姿が  
カワイイ!



グランプリ受賞「わんぱくカッパ」木村雅代様(岡山県)  
大人の真似をして腕組みをして、手ぬぐいを頭にのせて、  
やんちゃで元気いっぱいのお子さんの様子がよく伝わってきます。  
子供って変な顔するのが大好きなんですよ。



最優秀賞受賞  
「お手伝い」  
高沢 互様(長野県)  
夏の暑い土のおいしがしてくるよ  
うな作品で、何気ないスナップな  
のに、季節感がすごくよく出て  
いてビックリしました。一生懸命手  
伝っているお子さんがとてもかわ  
いらしい。

カメラのキタムラ  
子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト  
受賞作品誌上 展覧会

いよいよ夏本番。夏といえばお子さん  
たちが大好きな夏休み。そしてカメラの  
キタムラの「子ども&赤ちゃん すくす  
くフォトコンテスト」の季節です。元気  
いっぱいのお子さんたちの写真が、今年  
もまた、たくさん応募されてくると思っ  
待ち遠しくてもしかたがありません。審査  
をしていただく沼田先生も、「年々レベ  
ルが上がってきているので、審査するの  
が大変」とうれしい悲鳴を上げられてい  
ます。先生は前回の審査の時に「入選と  
落選は、ほんのちよとした違い。もう一  
工夫すれば入選できる作品ばかり」とお  
っしゃっていました。去年、落選された方々  
も、今年もう少し頑張れば、入選できる  
可能性が大いにありそうです。上位入賞  
だって夢ではありません。  
そこでキタムラでは、応募される皆さ  
んの参考にしていただけるよう、前回の  
受賞作品の一部を紹介させていただきます。  
とにしました。技術的な問題もあるの  
ですが、何よりもお子さんの元気な表情、  
愛らしい表情をとらえることが、入賞へ  
の第一歩。今年の夏は、お子さんと思っ  
きり遊んであげてください。そうすれば、  
お子さんはきっと最高の笑顔を見せてく  
れるはず。その時がシャッターチャンスです。  
笑った顔、怒った顔、泣いた顔。素敵な  
お子さんたちの作品を、今年もぜひキタ  
ムラに送ってください。社員一同、心より  
お待ちしております。

※写真のコメントはキタムラの社員によるものです。

優秀賞受賞  
「マイホーム?」倉谷淳子様(愛知県)  
子供って、狭くて小さな場所が好きなんですよ。  
私はよく押し入って遊んでました(笑)。  
おかあさんのお腹の中を思い出して  
いるのかなあ〜。



優秀賞受賞  
「水しぶき!」横川恵美子様(静岡県)  
ウィー! やった! 私も子どもの頃、  
同じことをやりました!  
おかあさんにしかられたけど、楽しい、  
気持ちいい!  
子供って水と遊んで遊べるんです。



優秀賞受賞  
「お茶事」鶴島里子様(島根県)  
かわいくて、とてもお行儀のいいお子さんですね。  
おかあさんの仕事を真似たんでしょうか?  
子供に対する親の責任の重さがヒシヒシと  
伝わってきます(笑)。

RICOH

高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCC1 分光透過率 ●高精度7ゾーンバッシュ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいフラッシュファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●追従モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

GR1s (ボディカラー:ブラック/シルバー)  
●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込)  
GR1s ..... ¥95,000(税別)  
GR1s DATE ..... ¥105,000(税別)

リコーカメラお客様相談窓口 リコーカメラについてご意見・ご希望がございましたら下記までご連絡ください。  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7 株式会社リコー カメラサービスセンター内  
0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00  
●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。



# 夏を撮る!

—— があると便利な写真用品 ——

夏は四季の中で、撮影シーンがもっとも多い季節。

海や山に加えて、祭り、花火など、昼夜を問わず魅力的な被写体がいっぱいあります。

色とりどりの花をはじめ、昆虫などの動植物も生き活きとしています。

このように撮影対象が広いということは撮影技量をアップさせる最大のチャンスです。

また、打ち上げ花火、家庭での花火などの失敗のない撮影方法と

撮影領域を広げる撮影用品を紹介します。

撮影技術、感性を最大限に引き出して傑作にチャレンジしてはいかがでしょうか。

今年の夏はお子さんやご家族に喜ばれるきれいな写真を撮ってあげてください。



撮影する光にはいろいろな種類があります。が、もっとも頼りになるのは太陽光です。この、自然の恵みが与えてくれる太陽光をいかに味方につけて撮るか、いかに活用して撮るかが大きなポイントとなります。夏はこの太陽の下で撮影する機会が多くなります。

といっても、太陽はいつでも撮影に都合の良い光ばかりは与えてはくれません。時には逆に不都合な光になる事がありますが、それを逆に利用する撮影方法もあります。曇りや雨の時もありますので、自然光をいかにうまく使うかがキーポイントといえます。

さらに、撮影に不都合な光の場合には、様々な写真用品がそれをカバーしてくれた

り、時には意外な効果をもたらし、傑作を生んでくれることもあります。

**海辺での人物撮影**

家族で海を訪れた場合、カンカン照りの太陽の下での撮影が多くなります。しかもお子さんは帽子をかぶっているケースが多く、顔が影になって暗く写ってしまい、表情が判らなくなってしまう経験をした方もお持ちでしょう。また、帽子をかぶっていない場合でも、お子さんの背景の海と空が明るいことで逆光と同じ現象になり、やはり人物が黒っぽく写ってしま



## OUR WORLD

肉眼では、遠い、小さな対象も、間近に引き寄せれば発見があるのだ。アリゾナにて。

BenSimmons / 1952年、アメリカ・ジョージア州生まれ。フロリダ大学で写真を学ぶ。その後、同大学をはじめ、各種の学校で講師として写真を教える。1982年にフォトジャーナリストとして来日、独自の視点で日本を紹介した写真集を出版するなど、広範な創作活動を展開している。

撮影データ：シグマ APO 50-500mm F4-6.3 EX RF HSM、1/125秒、F6.3

ベン・シモンズが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

生態系の実験施設、バイオソフィア2。巨大な建築物のガラス面を磨く男の、登山家のような動きにシグマで迫った。標準から超望遠までカバーする高倍率ズーム。トリプルカム内焦方式の採用でズーム倍率10倍を実現。SLD(特殊低分散)ガラスの使用で色収差を良好に補正。7群ズーム方式により、全域で高性能を発揮。HSMの搭載で500mmの超望遠側でも瞬時にAFが可能。三脚座にマグネシウム合金を使用することで、軽量化を図っています。さらに別売りのAPOテレコンバーターEXの装着で1.4×で140-700mm F7.3-8.8、2×で200-1000mm F10.4-12.6のマニュアルフォーカスレンズとして使用できます。

標準から超望遠までを1本でカバー、高倍率・軽量を実現した望遠ズームレンズ。

## SIGMA APO 50-500mm F4-6.3 EX RF HSM

お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都狛江市若戸南2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>



●AF希望小売価格(税別): 162,000円、ケース、パーフェクトフード、ショルダーストラップ付、三脚座組込みシグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用はHSM仕様ミドルタA用、ペンタックス用はボディ内モーター駆動

# 夏を撮る!

## 海の景色を撮る

海は日の出・昼・日没、干潮・満潮などによって変化し、それぞれに風情があります。この風情をより効果的に撮影するには、種類が豊富にあるフィルターの活用がお勧めです。

日中はPL(偏光)フィルターが一番のお勧めです。被写体表面の反射を除去し、きれいな写真が得られ



上:フィルター未使用。

下:PLフィルターを使用すると雲も浮き上がります。



このように暗くならない時は、被写体とカメラとの角度を変えて探します。逆光では効果が得られないと考えてください。

ます。海辺でこれを使用すると、白い雲、青い空、紺碧の海などがクッキリとして迫力のある写真に仕上がります。但し、このPLフィルターを使用する注意点として、カメラマンが太陽を背にした順光での撮影が基本になります。また、角度によってもその効果は異なります。反射している被写体にレンズを向けて、フィルターの回転枠を回しながら反射が消える部分を探します。一眼レフカメラにセットしてある場合は、効果をファインダー内を確認できます。もっとも暗くなつたところが反射を最大に抑えています。

さい。



上:フィルター未使用。

下:NDフィルターNo.8を使用して流れを強調しました。



三脚を使ってパノラマ(つなぎ)撮影をしても楽しい写真ができるでしょう。

## 山や清流、滝の風景写真

山を美しく撮るには、朝夕の斜光を利用するのがベターです。朝夕の斜光はいろいろな山の顔を見せてくれます。稜線や木々を立体的に演出してくれますし、朝と夕方ではまるっきり異なった景色になることも珍しくありません。また、斜光は体を反対側に向ければ逆光にもなり、光を選ぶのも容易です。この、山での撮影にもPLフィルターを是非、利用したところでは、さらに太陽が天空にある時間帯には、



花火の水中への映り込みを利用した例。花火は湖や川などの水辺で打ち上げられるので、水面は利用しやすい素材です。

なりがちですが、このフィルターを使用すると、かなりシャープな写真になります。流れの速い清流や滝では、シャッタースピードの使い分けと、いかに季節感を入れるかがポイントになるでしょう。

多くの客が押し寄せる花火大会の会場では、場所取りが重要なポイントになります。打ち上げ場所を事前に確認しておき、早めに場所を確保するようにしましょう。



城などの特徴的なシルエットを利用すると、趣のある写真が撮れます。

三脚に取り付け、シャッターレリーズをセットします。カメラは露出モード、ピントともオートからマニ

## 真夏の夜を彩る 打ち上げ花火

真夏の夜空を飾る花火は日本の夏の風物詩です。その撮影は難しいと思われる方が多いようですが、ちょっとしたコツさえ覚えれば、意外に簡単です。暗い夜空に浮かぶ花火の撮影ポイント、絞りやシャッタースピードの設定、それに三脚、レリーズを使用することで、カラーフィルムはISO100〜400を使用してください。

遠くの山がかすんでしまい、撮影しても薄ボヤリした写真になります。

う。また、流れだけにこだわらず、それに対比して静止している岩や木々を同時に入れることで、川、滝とも流れをより強調できます。

ここでの撮影もスローシャッター、高速シャッターの両方を使い分けて撮ってみるとよいでしょう。ところでスローシャッターにすると、絞り込んでも露出オーバーになってしまうケースがあります。こうした時に使用するのがNDフィルターです。このフィルターは色彩に影響を与えず、光の量だけを減少させるフィルターです。一般的には強中・弱の三段階の種類がありますが、前述のような、設定したいシャッタースピードとその場の光量に合わせて露光量をコントロールする場合に使えます。

また、昼間の明るい場所でのポートレイト撮影で、シャッタースピードを最高速にしても絞りを開放でき

# 夏を撮る!

## 浅い海での水中写真

水中写真といっても、水深のある場所での撮影となりますと、ダイビング装備などが必要になってきますし、カメラもそれに対応した耐圧設計のものや、水中ハウジング（陸上で使用するカメラを水の中で使うためのアタッチメント）を用意しなければなりません。

水辺に近く浅い場所ならば、防水用の



太陽光が届く浅瀬は、比較的簡単に水中写真を撮影することができます。特に岩場は光の陰影が美しい模様を織りなすことがあり、水中写真の初心者には撮影ポイントの一つです。

ヤノンIXY D5などで撮影できます。また、もっと気軽に撮りたいならば、レンズ付きフィルム（例…富士フィルム写ルンです Waterproof 27、ロタック スナップキッズ G.S.H.O.Tなど）があります。水辺でのちょっとした水中写真ならば、結構、楽しめます。これらのカメラは、地上で通常のカメラとして使用できます。このほか、水中で使用するということでは、レンズ付きフィルム用の水中ハウジングもあります。

こうした防水カメラは海辺やプールなどシーサイドレジャー、ヨット・ボート・サーフィンといった海洋レジャーに最適です。今まで、波がかかったりして撮るのが難しかったシーンも容易に残せるようになり、思わぬ楽しい記念写真にもなります。また、海や湖ではウツカリ、落とすこともありしますので、こんな防水カメラを持つていると安心です。撮影シーンがより一層広がりますから、一家に一台ほしいカメラといえます。

海、山の撮影では青みを帯びた写真が多く見られますが、これは強い紫外線のために生じます。こうした現象を避ける方法として、特に夏はUVフィルターの常用をお勧めします。紫外線をカットしてきれいな写真が得られるのに加え、レンズを保護する上でも重要な役目を果たしてくれます。

さらに朝焼け、夕焼けの景色を撮影して、写真で見るとイメージが大分、違うことがあります。これは昼間と朝夕の色温度が異なるためです。この色温度差を補正したり、夕

## 夏の撮影に役立つ写真用品

### フィルター類

花や昆虫も夏ならではの撮影対象のひとつ。マクロレンズを持参するのが面倒な時には、小型で持ち歩きに便利なクローズアップレンズやコンバージョンレンズが便利です。レンズの前やカメラとレンズの間に装着するだけで、かなりの接写が可能になります。また、マクロレンズを使った本格的な接写撮影では、距離を微動調節

花はクローズアップ写真の代表例。この作例では1.5倍のクローズアップレンズを使用しています。



ちなみに水中撮影の注意点としては、地上と撮影距離が違うことが挙げられます。空気中から水中を見た場合、屈折率の関係から物体は大きく見えます。約1.3倍に拡大されて見えます。空気を通すと、大きく見えるのです。水中カメラもレンズとフィルムの間には空気がある関係で、同じように拡大されて見えます。つまり、陸上よりも近くに見えてしまいますので、近距離撮影ではピンボケが多くなります。水中の標準レンズは35mmといわれています。

### クローズアップレンズ

景などを印象的に表現するフィルターもあります。このほか、木々の緑だけ、あるいは赤色だけをきれいに見せるフィルターもあって、これらを使用することで、より効果的な夏の写真が得られます。

5.6〜11の間であれば、ほとんど間違いありません。シャッタースピードはバルブ「B」、このモードにするとレリーズを押している間はシャッターがずっと開きっぱなしになります。

花火を楽しんでいる子供を撮る場合、ポイントになります。花火と子供が重ならないように、正面は避けて撮るようにしましょう。

ユアルに切り換ええます。フィルムの感度、花火との距離によって異なりますが、一般的には絞りF5.6〜6秒ぐらいい押し続けて離します。これが花火を撮る時の基本です。

ストロボを使用しないと花火は強調できませんが、肝心の子供の表情は消えてしまいます。どちらにテーマを絞るのか、目的を明確にしましょう。



花火が開く直前にシャッターを押して、消えるまで3〜6秒ぐらいい押し続けて離します。これが花火を撮る時の基本です。これをベースにして、花火の開き方や種類によって、シャッターを長く押しつづけて、早めに離したりします。長過ぎると花火が流れたり、露光オーバーになることもありますので、ケースバイケ



花火の場合、この例のように煙が撮影の邪魔をする場合も少なくありません。風向きや花火の種類、子供と花火との距離にも注意しましょう。

また、何発かを同時に入りたい場合には多重露光してください。この機能がなければカメラではシャッターを押しつづけておいて、黒い布などでレンズを覆い、上がる度にその覆いを取ります。但し、注意しなければならぬのは、電子式シャッターのカメラではシャッターを開け放しにしておくと、電池の消耗が激しいことです。

## 祭・盆踊りの撮影

ミコシを担いだり、ぶつかり合ったりの勇壮な祭、装束や山車の飾りが主体の祭もあります。いずれも見ているだけでも楽しいものですが、それを被写体としてとらえると、興がさらに深くなります。昼間の撮影でのポイントは、どの角度から撮ろうか、全体を入れるか、アップで処理しようか、望遠か、広角かなどになります。夜間の祭では、光が重要な位置を占めてきて露出にも神経を配らなければなりません。また、夜間に屋台や盆踊り、出店などでお子さんをカメラの内蔵ストロボで撮

## 家庭での花火撮影

暑さが一段落した日没、夜間によく撮られるのが、家庭での花火です。写す対象は花火よりも、花火に興じている子供の表情が主体になることが多いでしょう。子供と花火を一緒に入れて撮影する場合、注意点として柄の大きな花火ですと、真正面からでは顔の表情が隠れたり、花火の光が優先されてストロボを発光させていても顔が暗くなるケースがあります。また、真正面から少しずらして撮ります。また、煙が多い時にストロボを発光させると、その光が煙に反射して全体的に灰色っぽい写真ができてしまいます。煙の少ないタイミングを狙って撮影することも、上手に撮るコツといえます。

# 夏を撮る!

できる装置があると、より確実なピント合わせができます。振動やブレを避けるために三脚とともにシャッターレリーズも忘れないようにしてください。また、本格的に花や昆虫を撮影する場合、小さなレフがあると便利です。例えば、葉陰に隠れた昆虫などの撮影や、邪魔な影のある被写体の撮影に効果を発揮して、思わぬ表情が得られます。

## カメラバッグ

必ずしもカメラをバッグに納めて持ち歩く必要はありませんが、アクセサリなどを、バッグに一括して収納していると、携帯、保護、管理が容易です。

バッグはアタッシュケース型、ポスト型、ショルダー型、リュックサック型、ウエストポーチ型などがあります。さらに素材としては布製(木綿、合成繊維など)、金属製(アルミ、チタン、ステンレスなど)、プラスチック製などがあって、その種類は非常に豊富です。

バッグを選ぶには好みもあるでしょうが、海や山では水濡れや塵埃に強いことが大切です。高級感を求めるならば革製品、手をあけておきたいならば、ショルダーやリュックサックタイプとそれぞれに特性があります。最近では人工皮革でありながら高級感を保ちつつ、水濡れに強い製品も出ています。さらにプラスチック製のものは、軽い割に堅牢性があり、耐衝撃性や防水性に優れています。

傾向として、スナップ撮影にはショルダー型、ジックリ撮影するに箱型が向い

ていますが、慣れもありますので、場面によって使い勝手の良い、適切なバッグをお選びください。

## ベスト

使って意外と便利なのが、カメラマンベスト、カメラマンジャケットです。登山や沢登りなど、両手を頻繁に使うケースにはこうした着衣収納型が向いています。カメラやストロボなどが楽に入る大型ポケット付タイプもあります。

## ウエストポーチ

撮影現場で、機材の出し入れに便利なのがウエストポーチ、ウエストバックです。フィルム、フィルターなど小物を入れるのに適しています。また、35ミリ一眼レフ程度ならば収納できるタイプもあって、このクラスのウエストバックはセカンドカメラとしてコンパクトカメラを入れておくのにも便利です。カメラバッグと併用すると機性能が一段と高まります。

ファッション性に富んだタイプから、機性能を重視したタイプまで種類も豊富にありますので、好みに合わせて選んでください。



小澤 浩氏の作品



児島正卓氏作品

# 全国写真クラブ紹介

## 高鍋町中央公民館写真教室 Photo まいづる



- 設立 1994年4月1日
- 会員数 22名(講師・北園 貢)
- 活動 毎月2回の写真教室、年約10回の野外撮影会、年2回の作品展
- 場所 宮崎県児湯郡

退職者と主婦を中心に写真教室を開講してから6年になります。現在、教室の生徒数は22名(男性10名、女性12名)で、年間計画に基づき、「豊かな心で、センスと技術を磨きながら、作品づくりを楽しみ、地域の写真文化の向上発展に貢献する」ことをモットーに、和気あいあいと写真人

生を楽しんでいます。

県美展、県勤労者美展、各種コンテストなどにも出品し、入賞・入選しているほか、去る4月にはNHK宮崎放送局で、5月には高鍋町美術館で「Photo まいづる 写真展」を開催しました。

これからもレベルアップしながら良い作品づくりに頑張りたいと思っております。

清 笑子氏作品



清 笑子氏作品

## 写真教室

- 設立 1999年6月1日
- 会員数 5名(代表・松永安弘)
- 活動 毎月第2、第4火曜日の例会
- 場所 佐賀県藤津郡

設立して未だ日が浅いのですが、全員が一生懸命に努力しております。その甲斐があって、昨年の暮れには町の趣味の展覧会で、会員の作品が金、銀、銅の各賞を独占し、喜びに耐えません。また、今年の1月には九州のコンテストで最優秀

賞も受賞し、本人はもとより会員全員が驚きと喜びで一杯です。これを機会に、なお一層の努力を重ねて各種コンテストに応募し、入賞を目指して頑張ろうと張り切っております。



松永安弘氏作品「深まる秋」



三根 貢氏作品「春を呼ぶ」

# 海、山から帰ったら カメラ類のお手入れも忘れなく

カメラ、レンズは精密機器です。衝撃や汚れ、濡れに気を付ける必要があります。もし、海や山へ行って濡れたり、汚れてしまった時には、手入れを怠らないように、帰ったら必ずクリーニングしてください。

レンズやフィルターはまずプロアでホコリ類をよく吹き払います。噴射型のボンベによるダスタスターもありません。また、吹き飛ばすだけでなく、ホコリ類を吸引する用品もあります。両方を使いわけて、ホコリ類を除去します。レンズのネジ山や交換部分に砂などが残っていると、思わぬトラブルになりますので、ていねいに除去してください。

砂やホコリを除去した後、汚れ



ポンベタイプのダスタスター。ノズルが細く、レンズ際などの隅に溜まった細かなゴミやヨゴレのクリーニングに便利です。



レンズやフィルターのクリーニングには欠かせないプロア。

プロアの先にブラシがついたプロアブラシ。

レンズクリーナーやプロア、クリーニングペーパーなどはセットでも市販されています。



※各種クリーニング用品に関しては、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

を拭き取ります。原則としてレンズ部分は触れない方がよいのですが、汚れている場合は細心の注意をしてクリーニングしてください。柔らかいレンズクリーニングペーパーで円を描くように軽く拭きま

す。ゴシゴシと擦らないでください。大事なコーティングを剥がしてしまう原因になります。海で潮風に当たったカメラ、レンズは、ゴミを吹き飛ばしてから、ボディ部分は、真水につけて固く搾ったガーゼがセーム革で軽く拭いて塩分を除去します。乾いてからシリコンクロスで拭きます。但し前述のように、レンズはシリコンクロスではなく、やわらかいレンズクリーニングペーパーで拭いてください。



# サイクルフォト



伊藤 博氏の作品「蔵玉の紅葉」

- 設立 1994年4月17日
- 会員数 22名(代表・潤間岩夫)
- 活動 毎月1回の例会、年2~3回の撮影会、年1回の写真展の開催
- 場所 千葉市原市

公民館で開催された自然写真教室で、JPA会員の山口秀輝さんにめぐり合い、本写真クラブが結成されました。クラブ名の「サイクルフォト」には、自転車のサイクルと季節のサイクルという二つの意味をかけ、自分たちの住んでいる地域を見つめ直してみようという気持ちが込められています。

山口さんの指導のもと、房総の風景を中心に、個人個人がそれぞれのテーマを持って撮るように心がけています。目標としては、誰もが共感できる歴史に残る写真を目指しています。

作品は、昨年4月からNHK総合放送の「いっと6けん」という番組内で、「房総百景」と題して1点ずつ放送されています(水曜午前11時10分頃)。また、NTT東日本のインターネットホームページ「ハローねっとジャパン千葉発」でも、「房総の写真展」として常時展示されています。

土日の夕刻には「カメラのキタムラ市原店」に、朝から撮り歩いてきた会員たちが三々五々集まり、情報交換をしています。

潤間岩夫氏作品「椿」



鈴木健三氏作品「収穫」

# フォトグループ・アイ 12人



- 設立 1997年2月1日
- 会員数 12名(世話人・三上 彰)
- 活動 年1回の写真展(テーマ別)
- 場所 福井県福井市

芸術作品を作る目的を持った者同士が集う特異な写真集団で、代表などは設けず、世話人がすべての運営に当たっています。

ただ美しいから撮るのではなく、各自の感性にこだわった、内容や

奥行きのある格調高い作品作りをめざし、一生懸命頑張っています。

各自の好きなテーマによる作品展を年1回、県立美術館に於いて開催しており、少しでも地域文化の向上に寄与できれば幸いだと思っています。

メンバーの中には、二科東京本展入賞・入選十数回の経歴の持ち主や、全日写連関西本部合同展で第一位を受賞された方、また全国コンテストに入賞・入選された方々など、全員が自分の個性の反映する様な作品作りをと、楽しみながら「何をどう撮るか」に取り組んでいます。



三上 彰氏作品



清水義久氏作品



橋本洋子氏作品

# 千歳写真集団

- 設立 1964年10月18日
- 会員数 11名(代表・浜頭孝一)
- 活動 毎月1回の例会、年1~2回の撮影会、年1回の写真展
- 場所 北海道千歳市



千歳市内の写真愛好家を募り、写真芸術を研究、創作し、あわせて千歳市の文化活動に寄与することを目的として本クラブは生まれました。設立当初より辺地入学児童(小学校4校)の記念撮影及び写真贈与を実施しています。

毎年作成する年間行事計画書に基づいて活動を展開、年1回の写真展は写真の日(6月1日)に実施しています。昨年は本クラブ結成35周年を記念して、会員の創作による作品と、千歳市内の昭和26~56年古い記録写真を同時に展示し、市民に大変な好評をいただきました。

これからも個人の作品はもとより、市内の貴重な記録写真を残してゆくことを心がけていきたいと思っています。



写真はいずれも浜頭孝一氏作品



# 第1回キタムラ撮影ツアー「悠久のロマン中国シルクロード5泊6日の旅」随日記

今回「フォトライフ四季」編集部は、記念すべき第1回キタムラ撮影ツアー「悠久のロマン中国シルクロード5泊6日の旅」に参加しました。

4月15日に成田を飛び立ち、北京、ウルムチ、トルファンの撮影ポイントで、小林広先生のご指導のもと、充分に撮影を堪能しました。(参加者平均20本撮影!!)

もちろん一般的な観光スポットも訪れましたが、専用バスで移動する途中でも、放牧されているラクダを見つけたらバスを止めてハチリ、また民家の前に幼い兄妹が出て来ているのを見ればまた降りてハチリと、あまり細かいスケジュールにとらわれず、あくまで被写体重視の行動をとることができたのもこのツアーが撮影ツアーたる所以で、参加者の方々から特に好評をいただくことのできたポイントです。また、帰国後再び集まり、作品の選評会をしながら、旅の思い出話を花を咲かせることができるのも、楽しみの一つです。

さあ、あなたも観光あり、ショッピングあり、もちろん本来の目的である撮影を堪能することができるキタムラ撮影ツアーに、ぜひご参加ください。



トルファンの交河故城で記念写真。

北京の雍和宮で、先生の指導のもとにレンズを向ける。



ウルムチからトルファンへ向かう途中の道路沿いで、ラクダの放牧に出会った。

# いま、新たなる頂点へ。 EOS-1V 誕生

Canon



プロの声が鍛え、時が磨いた。1989年・秋、EOS初のプロフェッショナルモデルEOS-1登場。そしてEOS-1Nを経て、2000年・春。キヤノンは、プロの道具を極めた成熟のフラッグシップ機を送り出します。キヤノンEOS-1V、誕生。EOSのナンバーワンとして、つねに映像表現の頂点を目指すカメラであり続けるために。「人の意志に従う自動化」というEOS-1からの開発コンセプトを大切に受け継ぎながら、撮影者ごとの多様なニーズにきめ細かく応え、進化を重ねた最高峰のプロスペック・カメラがここに誕生しました。「1」という数字に込められたものは、私たちのカメラ作りにかける情熱と自信、そして誇り。プロの声が鍛え、時が磨いたプロフェッショナルAF一眼、キヤノンEOS-1V。これからのあなたの写真史に深く名を刻む、一台です。

- マグネシウム合金外装と防塵・防滴性能。強化された基本性能 ●測距点は9・11・45点。撮影スタイルに合わせて設定できるエリアAF ●21分割評価測光センサー採用。さらに細やかな露出制御システム
- 世界最速・約10コマ/秒の高速連写と約9コマ/秒の動体予測・AIサーボAF ●充実のカスタムファンクション20種63項目とパーソナルファンクション31種 ●高度なストロボ撮影をサポート。先進のE-TTL自動測光システム対応 ●さらに使いやすく、充実のアクセサリ ※EOS-1V HS+ニッケル水素パックNP-E2使用時

## Canon EOS-1V

EOS-1V メーカー希望小売価格 EOS-1Vボディ……………¥270,000(税別)/EF50mm F1.4 USM付き……………¥325,500(税別)/EF28-135mm F3.5-5.6 IS USM付き……………¥348,000(税別)  
EOS-1V HSボディ……………¥325,000(税別)/パワードライブスターPB-E2……………¥60,000(税別)/スピードライト550EX……………¥50,000(税別) ●カタログのご請求は〒108-8011 東京都港区三田3-12-15 東急三田ビル キヤノン販売株式会社「EOS-1V」係まで、ハガキでお申し込みください。 ●キヤノン販売ホームページ <http://www.canon-sales.co.jp/> キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

## KITAMURA INFORMATION

# フォトGazoショップオープン!!

素敵なポストカード、  
グリーティングカードをつくりませんか?

オフィスやお部屋に  
素敵なフォトを飾りませんか?

フォト画像ダウンロード販売、フレーム付きフォト販売を始めました。  
<http://gazo.kitamura.co.jp> にアクセスしてください。



お手持ちのカメラやレンズを、  
**高価下取り。**  
**買い取り。**  
詳しくは、  
お近くの  
カメラのキタムラ  
までお問い合わせ  
ください。

デジカメで撮ったら、**キタムラ全店**  
カメラのキタムラへGO!  
**デジカメからプリント**  
すぐできます。

## 「わたし流ガーデニング アイデア200 BOOK」



カメラのキタムラが主催したフォトコンテスト「わたし流ガーデニング」の作品が1冊の本になりました。入選作品のガーデニングアイデアを中心にアイデア満載のムックです。入選作品には日比谷花壇のガーデニングアドバイザーによる、さらによくなるアドバイスも掲載。書店で見かけましたら、ぜひ一度手にとってページを開いてみてください。

菊版/オールカラー/100ページ  
定価**648円(税別)** 発行：パウハウス

## フォトコン専門誌 「フォトコンライフ」刊行!

カメラのキタムラが主催する「春の花」「子ども&赤ちゃんすくすく」「ペット&動物ふれあい」「秋の彩」「わたし流ガーデニング」の5大フォトコンテストの入賞作品を中心に、写真に関する様々な情報を網羅したフォトコンテスト専門誌「フォトコンライフ」が刊行されました。年4回の季刊誌として全国書店と、全国のカメラのキタムラ店頭で販売いたします。

A4変形版/オールカラー/164ページ  
定価**1,143円(税別)** 発行：双葉社



## 編集後記

今回の特集記事はいかがでしたでしょうか。日本の海中写真の第一人者である中村征夫先生にご登場いただき、海中の美しさ、楽しさを様々なエピソードを交えながら、お話しいただきました。読者の皆さんもこれを機会に、海水浴にお出かけの際には海中写真にチャレンジされてはいかがでしょうか。ただし、海は恐ろしい場所でもありますので、くれぐれも沖に出て無理をなさらないようにしてください。また、必ず二人以上で行動するようにと、先生からご注意をいただきました。無理をしなくても、注意すれば浜辺近くの海中にも、素晴らしい被写体があるはずですよ。

路上観察の松田哲夫氏には筑摩書房本社でお話をうかがいました。終始おだやかな口調で一つ一つ思い出すように話される氏からは、仲間のいる楽しさを教えていただきました。「私達も仲間がいたからこそ、ここまで続けてこれたのです」と。路上観察をするためには想像力が必要です。仲間と楽しくアイデアを教え合えば、そのアイデアがきっと次の作品づくりにも活かされることでしょう。

仲間がいれば写真はもっと楽しくなります。今後もカメラのキタムラでは、一人一人の作品づくりに役立つアドバイスはもちろん、グループでの撮影活動にも役立つ提案をさせていただこうと考えております。皆さんのフォトライフがより豊かなものとなりますように、心よりキタムラは願っております。

## プレゼントが当たる! クロスワードパズル



答え = ○○○○○○  
ヒント：最近は、かなり高値で売られているようです。

- 1 魚への漢字。「鱈」と書いて何と読む?  
2 今、10対0でリードしてるヨ。今日は○○○○○だ!!  
3 夏に欠かせないロックバンドといえば、やはりこのグループでしょう。  
4 夏の間もせっせと働く虫です。  
5 最近問題になっている、しつこく女性につきまとう男性のこと。  
6 慢性のアルコール中毒を「アルコール○○症」と言います。  
7 泡状の整髪料のこと。  
8 八百屋さんでも、証券会社でも売ってるモノって、何?  
9 朝・昼兼用の食事のこと。  
10 自衛隊には、海上と○○上があります。  
11 あまり関心できないクセの代表といえば、貧乏○○○。  
12 サッカーやバスケットで、ゴールを狙うプレーといえば…。  
13 愛媛県の旧国名。○○柑という特産品もありますネ。  
14 今、自分がハマっている事をマイ・○○○と言います。  
15 花は花でも、永久に枯れない花は…?  
16 「車」を英語で言う?  
17 R&Bの「B」とは何の略?

問題：クロスワードに答えて、A~Eのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を進呈いたします。

あて先：〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季 クロスワードパズル」係 締め切り：8月31日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.31) 解答とご当選者 解答：「ネンガジョウ」  
熊本恭子(青森県)、佐藤タエ子(岩手県)、遠藤忠志(埼玉県)、寺坂治雄(東京都)、苗代信子(富山県)、松田昭二(石川県)、望月和清(静岡県)、大西勝弘(三重県)、今井清司(滋賀県)、園滋(滋賀県)、高野隆喜(大阪府)、安井有子(大阪府)、田淵輝夫(兵庫県)、佐藤清美(奈良県)、西ひろ道(鳥取県)、福井陽子(鳥取県)、伊藤まり子(鳥取県)、大崎好則(岡山県)、与力昭三(広島県)、石井まり子(広島県)、豊野雅博(広島県)、宮本広(広島県)、隅田賢治(広島県)、初田治(香川県)、橋本三三夫(香川県)、横山ヨシ子(香川県)、免取和賀子(愛媛県)、谷崎美重(福岡県)、橋本典子(福岡県)、井島千歳(熊本県) 敬称略

撮ったら、すぐカード。



21世紀インスタントカメラ誕生



instax mini



フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ  
メーカー希望小売価格 10,000円 (税別)

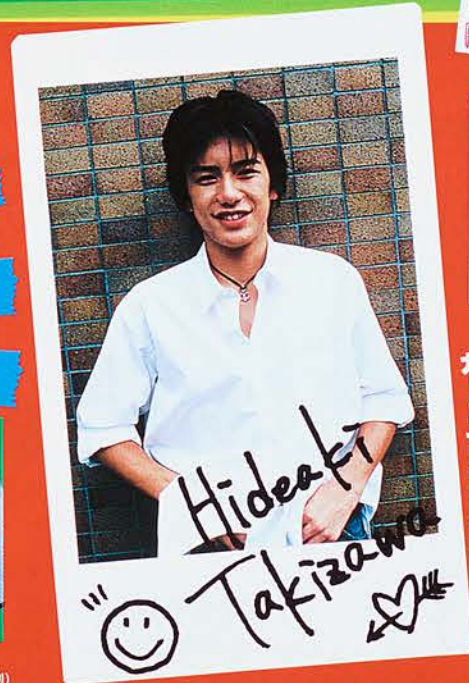
カバンにすっぽり  
コンパクトボディ

定額入札にピッタリ  
カードサイズ写真

フィルムも安く  
チェキ!



インスタックスミニ フィルム  
1パック/10枚撮り 700円 (税別)  
2パック/10枚撮り×2 1,250円 (税別)



カードサイズ写真(原寸大)

